

海洋プラスチックごみの追加的な汚染を「ゼロ」に  
大阪ブルーオーシャンビジョン(G20大阪 2050年 → G7広島 2040年野心的目標)

回収処理、発生抑制  
対策の促進

《一級河川清掃活動》  
年40万人、1000トン回収  
流出ごみの約10%を回収  
(東京理科大/田中ら)

ごみの「発生抑制は、原因者を追求するのではなく、原因  
となる行動や状態を追求し、それを取り除く」ことにある。  
(藤枝繁/鹿児島大学特任教授)

流域(圏)全体を俯瞰  
(流域総合水管理/  
治水・利水・環境)

気候変動  
生物多様性  
プラスチック汚染

法制度の整備

国際条約(INC)に伴う国内法整備  
↑?  
プラスチック資源循環法  
海岸漂着物処理推進法  
循環型社会形成推進基本法  
河川法/海岸法  
廃棄物の処理と清掃に関する法

河川区域、空間

まち中/河川敷  
被害甚大海岸

自治体/まち美化シンポ  
中部リサイクル運動市民の会  
3R全国ネット/JEAN/PO  
/減プラNGOネット 等  
関心度高い市民らによる展開

市民力の向上

11

多世代による取組への共通理解  
3回のリレーミーティング

- ・ごみ問題はごみの視点だけでは解決できない
- ・ごみ問題の利点は見えること
- ・世代毎に抱える課題や背景を理解し合う
- ・多世代の連携のための工夫

○河川流域のいたるところから発生したプラスチックなどのごみは、水の流れにのって、湖や川の本流に集まります。回収されなかったごみはやがて海へ入り、海洋を汚染します。海岸や川など、水辺での回収活動は人の手によっておこなわれます。

○回収活動を進めるうえで、流域の水環境に関心を持つ多くの個人や市民グループがつながっていくネットワークはとても重要で、全国川ごみネットワークの意義もそこにあります。

○プラスチックごみの問題は、現世代の中でも上の世代が放置してきた問題ともいえます。とくにマイクロプラスチック汚染の拡散により、次の世代ほど様々な影響を負うことになります。

○長く清掃活動などを担ってきた市民グループの中には高齢化が進んでいることから、活動の継続が難しくなっているところもあります。一方、身近な水環境問題に関心を持って様々な活動に関わっている若い世代の方々も、国内各地に少なくありません。

○プラスチックごみ問題を改善していくためにも法制度の整備が求められています。そのためには、多くの世代が問題の実情などについて共有していくことも必要です。

○そこで、これまで川ごみ問題などに取組まれてきた当事者世代の経験と、若い世代の柔軟な発想と行動力・発信力などを融合していくことが、今後、大事な視点になると考えました。

## 第11回川ごみサミットについて

これまでの川ごみサミットでは、川ごみ問題に取り組む活動現場を共有しつつ、国、自治体などの取組を含めた回収処理・発生抑制対策の促進に向けたテーマで意見交換。

**今回は、事前に全3回のリレーミーティングをオンラインで開催しました。**

学生や現役世代らが水辺環境保全活動に関わる入口(きっかけ)が違う、**3つの事例**を踏まえて、

- それぞれの事例における課題や活動の継続・発展に向けた工夫などを共有
- 長い活動経験から得られた知恵？と若い世代なりの多様な手法？の融合
- 「流域総合水管理」「R7環境白書」～国内のあらゆる主体の参画と連携の促進  
「第6次環境基本計画」～持続可能な地域づくりのためには、住民、民間団体、事業者、行政等による対話を通じた協働取組が重要 など

という観点から、

どのような主体的な動きや連携の工夫(制度・財政的支援、後押し)があるのか、求められているのか、3つのサブテーマに分けながら意見交換をしたいと考えています。

## ＜第1部＞ 多世代連携のヒント

リレーミーティング登壇者を中心に振り返る（約60分）

○魚と子どものネットワーク

○NPO法人国際ボランティア学生協会 出水響さん・箭野純貴さん

○信州こどもエコレンジャー MAGES 眞嶋美波さん

○地域の未来・志援センター 三ツ松由有子さん

## ＜第2部＞ [意見交換] 多世代が融合しての川ごみ対策・流域づくり

サブテーマ①：流域総合水管理の展開、水環境調査との連携など（約50分）

・発言者： 国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課

・ファシリテーター：22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会 近藤朗

サブテーマ②：水辺の回収活動、啓発対策の促進に向けた法制度運用の工夫など（約50分）

・発言者： 環境省 水・大気環境局 海洋プラスチック汚染対策室

・ファシリテーター：同志社大学経済学部 准教授 原田禎夫

サブテーマ③：自治体や大学が担えることを探る（約50分）

・ファシリテーター：下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会 小口智徳